

雑固体廃棄物焼却設備の設置について

平成24年3月28日

東京電力株式会社



東京電力

1. 雑固体廃棄物焼却設備の設置について

■ 目的

●福島第一原子力発電所(以下、「1F」)では、東北地方太平洋沖地震の影響により、既存の雑固体廃棄物焼却設備や洗濯設備が使用できないことから、作業員の使用した装備品等(タイベック・下着類ほか)は焼却による減容処理や洗濯による再使用ができずに敷地内に一時保管している。

現在、焼却設備による減容ができないことから、一時保管エリアの有効活用のためにも焼却設備による減容が必要である。今後も復旧作業が継続されるため、**新規の焼却設備**を設置し廃棄物の減容処理を行う。

表 1F焼却設備の状況

既存設備		焼却対象	状況
雑固体廃棄物 焼却設備	A	可燃性雑固体廃棄物	滞留水処理設備/滞留水貯蔵等に使用されており、復旧不可
	B	廃油、使用済樹脂	
高温焼却炉		不燃性雑固体廃棄物 可燃性雑固体廃棄物	

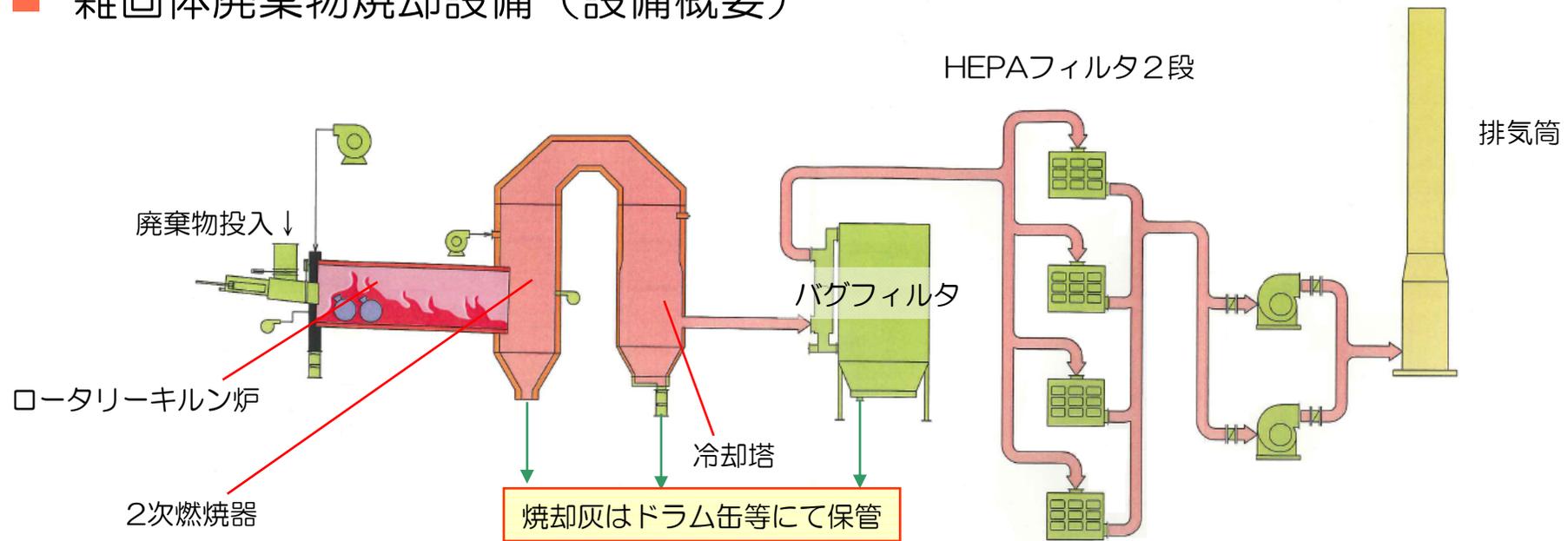
本設備による対象物



既存焼却炉で焼却していた廃棄物
雑固体廃棄物
・装備品(タイベック・下着・ゴム手等)
・工事廃材(ウエス・木・梱包材・紙等)
廃油、使用済樹脂など

2. 設備概要

■ 雑固体廃棄物焼却設備（設備概要）



炉型	ロータリーキルン式
処理容量	300kg/h 2基
焼却対象物	雑固体廃棄物 ・ 装備品（タイベック・下着類・ゴム手等） ・ 工事廃材（ウエス・木・梱包材・紙等） 廃油 使用済樹脂
稼動開始予定	H26年度（工期約3年）
設置予定地	1F 5/6u北側ヤード

3. 設置予定地について



設置予定地

(瓦礫移動・伐採・敷地造成予定)

4. 今後の予定

年度	H23	H24												H25		H26	
月/期	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	上	下	上	下
設計・検討	●-----																
事前調査	<p>瓦礫移動・伐採・敷地造成</p> <p>●-----</p> <p>地質調査</p>																
工事	<p>着工</p> <p>●-----</p> <p>竣工</p>																